NIE実践報告

1．タイトル：新聞社ではたらく人々

2．学校名

福岡県福岡市立鳥飼小学校

3．実践者名（代表者名）

中村健一郎

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　118人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞社ではたらく人々

7．目標(狙い)

新聞者ではたらく人々の工夫や努力を調べ、新聞のできる過程を学ぶとともに、新聞の与える社会への影響や、情報を正しく受け取る意義を学ぶ。

8．評価の視点

・新聞社ではたらく人々の工夫や努力を理解できる。
・新聞の与える影響や情報の選択の重要性を理解できる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞社ではたらく人々」15時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞を見て新聞の特徴から、学習問題「西日本新聞社ではたらく人々はなぜ毎日早くくわしい新聞を出すことができるのだろう」を設定する。（3時間）
②調べ活動をして、まとめる。（5時間）
③しらべたことを発表し合い、学習問題の答えをまとめる。（2時間）
④模擬編集会議を行い、情報を選択することの難しさを味わうことで、情報を送る側の難しさや正しい情報を受け取ることの大切さを考える。（5時間）

（留意点）
・調べ学習では西日本新聞社の見学を行う。
・模擬編集会議では編集者の人に来てもらい、情報を選ぶ時の観点などについて助言してもらう。
・学習の前から朝の会などで、新聞記事について教師が話したり、朝のスピーチで新聞記事の内容をスピーチさせるなど、新聞に対しての関心を高めさせていく。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

見学を行うことで児童の調べ学習に対する、意欲は高まった。また、編集会議では本物の編集者の方に来ていただいたことで、情報を選ぶこと、情報を受け取ることの大切さを実感することができていた。

12．成果と課題

新聞に対する興味はとても高まり、情報を選択して収集することの大切さを考える上ではとても有効な学習であった。テレビやラジオ、インターネットなど他の情報媒体についても学習するように広げる事も考えられる。